

DPDMX20L

取扱説明書

Ver. 1.01



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL: 0476(89)1111 FAX: 0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は STAGE EVOLUTION DPDMX20L をご購入頂き、誠にありがとうございます。DPDMX20L は各チャンネル最大 1,000W、1 台の合計で 1,500W まで使用可能な 4ch のディマーパックです。DMX コントローラーを使って制御できる他、内蔵プログラムでの動作も可能です。また、クランプを使用することにより、トラス等に固定することが可能です。

本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前に取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

安全上の注意

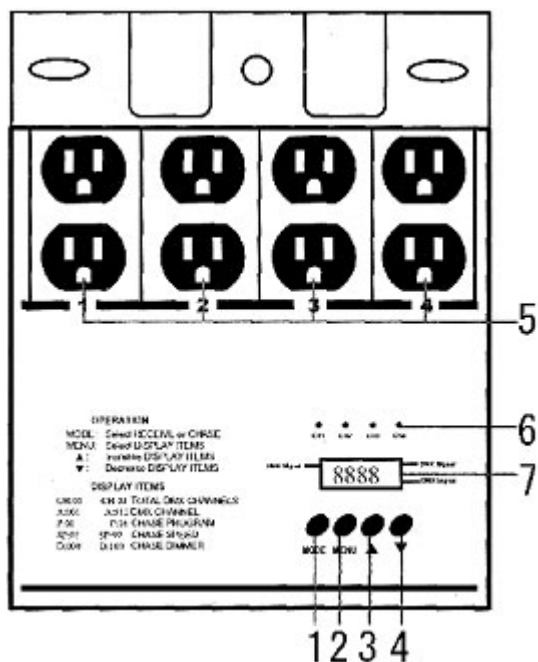
1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり、挟まれることのない場所に設置してください。
3. 電源、電圧が正しいことを確認してください。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
4. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機器と接続する際には必ず本体の電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
5. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
6. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。また、本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
7. 本体は通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
8. 本体に液体がかからないよう、また雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因となります。
9. 内部には精密な電子部品を使用しております。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにしてください。
10. 電源ケーブルやプラグが傷んだり、また使用中に点灯しなくなったり、異常な臭いや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
11. 長時間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

ヒューズ交換やメンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

各部の名称と機能

フロントパネル



1: MODE ボタン

DMX コントロールモード、マニュアルモードの切り替えを行います。

2: MENU ボタン

DMX コントロールモード時には、DMX スタートアドレスの設定及び、DMX チャンネルモードの設定を呼び出します。マニュアルモードでは、チェースプログラム設定、スピード設定、ディミング設定を呼び出します。

3: ▲ (UP) ボタン

MENU ボタンで呼び出した各設定値を変更する際に使用します。

4: ▼ (DOWN) ボタン

MENU ボタンで呼び出した各設定値を変更する際に使用します。

5: 電源出力

各出力チャンネルに2系統ずつのコンセントが用意されています。2系統の出力は内部が平行(並列)接続になっているため、どちらを使用しても出力は変わりませんが、上下出力の合計が1000Wを超えないように注意してください。

6: 出力インジケータ

各出力チャンネルの状態を表します。緑のLEDが点灯している場合、そのチャンネルに電流が供給されていることを表します。

7:LCD ディスプレイ

DMX コントロールモードやマニュアルモードの各設定状態を確認できます。またマニュアルモード時には右下の Chase インジケーターが、DMX コントロールモード時には右上の Receive インジケーターが点灯します。DMX コントロール時に DMX 信号を受信している場合、左上の DMX Signal が点滅します。

リアパネル



8:ヒューズボックス

各チャンネルに 20mm 10A/250V のヒューズが搭載されています。

9:電源スイッチ

電源の ON/OFF を行います。

10:電源ケーブル

電源コンセントに接続します。AC100V、50/60Hz でご使用ください。

11:DMX 信号入力端子 (XLR オス)

DMX コントローラーや、他の DMX 対応照明機器を接続します。

12:DMX 信号出力端子 (XLR メス)

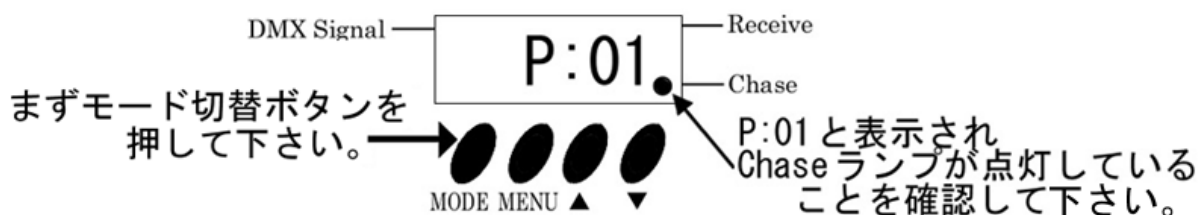
DMX 信号入力端子から送られた信号をそのまま出力します。内部は並列構造になっているので、本体の電源を切っても信号はスルーします。

DPDMX20L を単体で使用する場合

本体のコントロールボタンで、チェースのプログラム、速さ、明るさの設定を行います。本体の電源を入れ、ディスプレイが点灯していることを確認してください。

STEP 1

本体をマニュアルモードに切り替えます。MODE ボタンを押して、ディスプレイに〈P:XX〉と表示され Chase インジケータが点灯していることを確認してください。



STEP2

MENU ボタンと▲▼ボタンを使い、チェースプログラム(連続照明パターン)の選択、速さ及び明るさの設定を行います。各機能の選択は MENU ボタンで切り替え、▲▼ボタンで数値を変更します。

ディスプレイ表示	機能	選択範囲
P:XX	チェースプログラムの選択を行います。	1～16 の内蔵プログラムから選択できます。
SP:XX	チェース時の切替速度の設定を行います。	01(遅)～99(速)の範囲で設定できます。
D:XXX	チェース時の明るさの設定を行います。	000(暗)～100(明)の範囲で設定できます。

※ DPDMX20Lにはフラッシュメモリーが搭載されており、電源を切ってもデータは失われません。再度電源を入れた際には、電源を切る直前のデータが呼び出されます。前回マニュアルモードで終了した場合は、マニュアルモードから始まり、前回選択していたチェース番号〈P:XX〉が表示されます。速さ及び明るさの設定に関してもデータは保存されます。

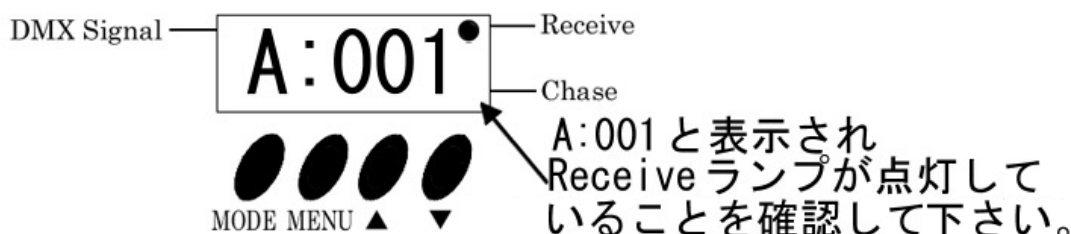
※ 全てのチェースプログラムはプリセットされており、内容を変更することはできません。

DMX コントローラーを使用する場合

DMX コントローラーで制御することにより、DPDMX20L に接続された照明機器の明るさを調整します。

STEP1

本体を DMX コントロールモードに切り替えます。MODE ボタンを押して、ディスプレイに<A:XXX>と表示され Receive インジケーターが点灯していることを確認してください。(注 2)



STEP2

MENU ボタンと▲▼ボタンを使い、DMX スタートアドレス(使用する最初の DMX アドレス)と、DMX チャンネルモード(本体を何チャンネル仕様のディマーとして使用するか)を設定します。

また、DPDMX20L には 3 つの DMX チャンネルモードがあり、モードによって必要な DMX チャンネル数が異なります。1ch モード(4ch 一括)、2ch モード(2ch 毎)、4ch モード(1ch 毎に独立)から任意のモードを選択することができます。使用する DMX アドレスは必ず連番となります。例えば、4ch モード時に DMX スタートアドレスを 1 に設定した場合は“1-2-3-4”、DMX スタートアドレスを 7 に設定した場合は“7-8-9-10”となります。

DMX チャンネルモードと DMX スタートアドレスの選択は MENU ボタンで切り替え、▲▼ボタンで各々の数値を変更します。

ディスプレイ表示	機能	選択範囲
CH:XX	DMX チャンネルモードの設定を行います。	01、02、04 から選択可能です。
A:XXX	DMX スタートアドレスの設定を行います。	001~512 の中から設定します。

※ DPDMX20L にはフラッシュメモリーが搭載されており、電源を切ってもデータは失われません。再度電源を入れた際には、電源を切る直前のデータが呼び出されますので、DMX コントロールモードで前回終了した場合は、DMX コントロールモードから始まります。DMX のチャンネル数に関してもデータは保存されます。

※ DMX チャンネル数の合計値は、DPDMX20L を何チャンネル仕様のディマーとして使用するかによって決まります。

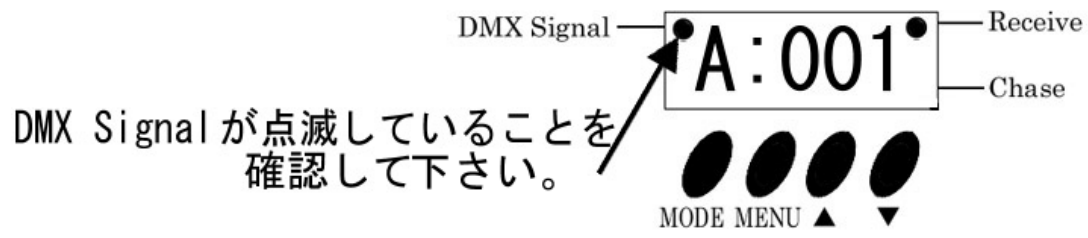
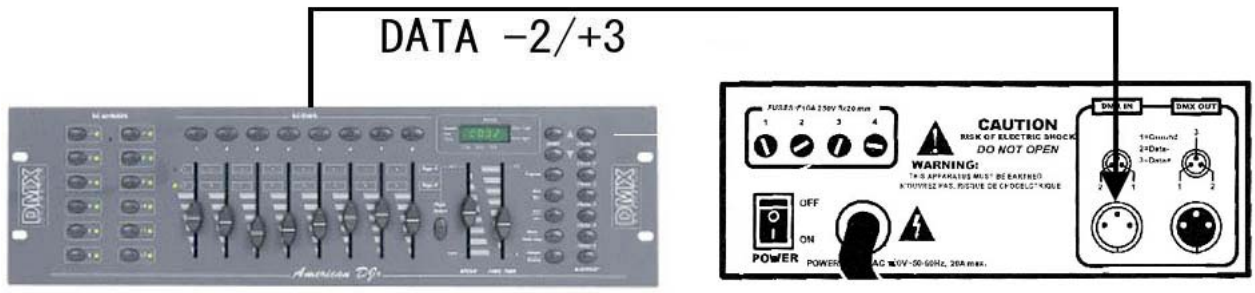
CH:04 の場合は 4 チャンネルモードとなり、4 系統の出力は全て独立した DMX 信号で動作します。

CH:02 は CH1 と CH2 がペア、CH3 と CH4 がペアとなり、CH1 と CH2 で 1 チャンネル、CH3 と CH4 で 1 チャンネルの 2 チャンネル仕様になります。

CH:01 の場合 CH1~4 が全て 1 系統として動作するため、1 チャンネル仕様となります。

STEP3

DMX コントローラーと DPDMX20L をデジタル XLR ケーブルで接続します。DMX コントローラーの出力極性は 3 番プラス/2 番マイナスに設定してください。DMX 信号を受信すると、ディスプレイ左上の DMX Signal が点滅します。



※ コントローラーの極性の設定方法は、お手持ちの DMX コントローラーの取扱説明書を参照してください。また DPDMX20L 以外の照明を同時に使用する場合、機種によって 1=GROUND、2=+、3=- の製品があります。その場合は位相変換アダプターをご使用ください。

DMX-512 について

DMX-512

DMX-512とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための世界共通規格です。DMXコントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

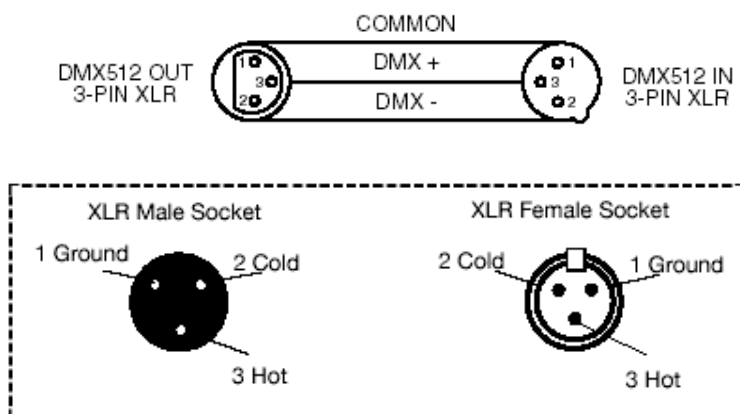
DMXリンク

DMXデータの正確な送受信を行うため、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は相関しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

DPDMX20L は最大 4 チャンネル分の DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体のボタンで設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。

DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。

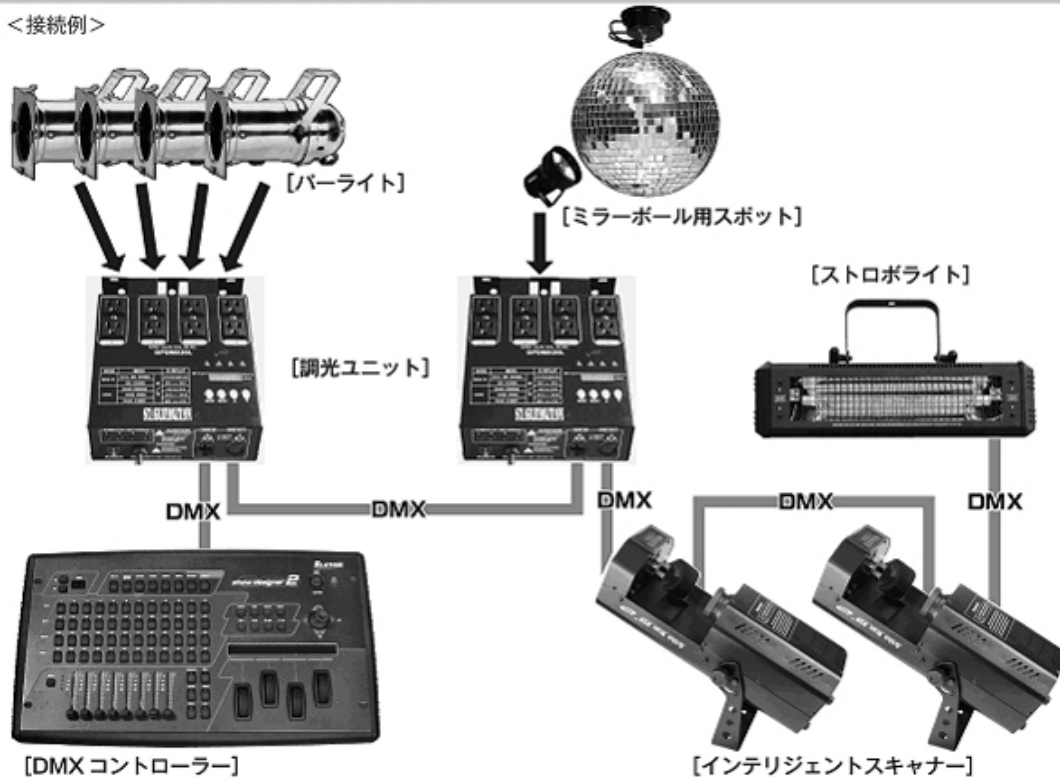


5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクタの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクタを DMX 信号の通信に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクタを DPDMX20L に接続する際は変換アダプターをお使いください。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- ・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。
- ・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くない様に配線してください。※
- ・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
- ・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※—長距離の配線について—

50mを超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用してください。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照してください。

ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用ください。

通気孔 ＜一週間に一度＞

■通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。通気孔に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません

→通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 ＜一ヶ月に一度＞

■差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、製品が正常に作動しない恐れがあります。

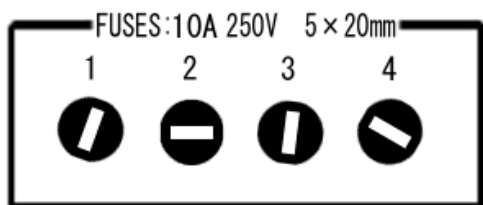
→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

ネジ ＜三ヶ月に一度＞

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

ヒューズの交換方法



ヒューズ交換の際には必ず同規格のヒューズと交換してください。

STEP1

本体の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

STEP2

リアパネルにある各チャンネルのヒューズソケットを、マイナスドライバーを使い反時計回りに回してヒューズを取り出します。

STEP3

ヒューズ交換後、ヒューズソケットを時計回りに回してはめ込みます。この時ヒューズソケットを軽く押しながらヒューズがロックされるまで回してください。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源スイッチを ON にしてもディスプレイが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">・ AC100、50/60Hz の電源に接続されているか・ 電源ケーブルが断線していないか・ 電源ケーブルがコンセントにしっかりと挿入されているか
接続した照明が点灯しない	<ul style="list-style-type: none">・ 本体のコンセントに照明機器のプラグがしっかりと挿入されているか・ 点灯しないチャンネルのヒューズが切れていないか・ 照明機器の電球が切れていないか
DMX でコントロールできない	<ul style="list-style-type: none">・ Receive インジケータが点灯し DMX モードに設定されているか・ DMX アドレスが正しく設定されているか・ 接続に問題がないか・ DMX ケーブルが断線していないか・ コントローラーの極性が-2/+3 になっているか

製品仕様

モデル	DPDMX20L
使用電力	最大 1500W、1CH 最大 1000W
内部基板用ヒューズ	250V 315mA
出力用ヒューズ	250V 10A × 4
DMX 入出力端子	3ピン XLR オス × 1、メス × 1
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法	19W × 7H × 26.5Dcm
重量	2.2kg

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合ほどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。